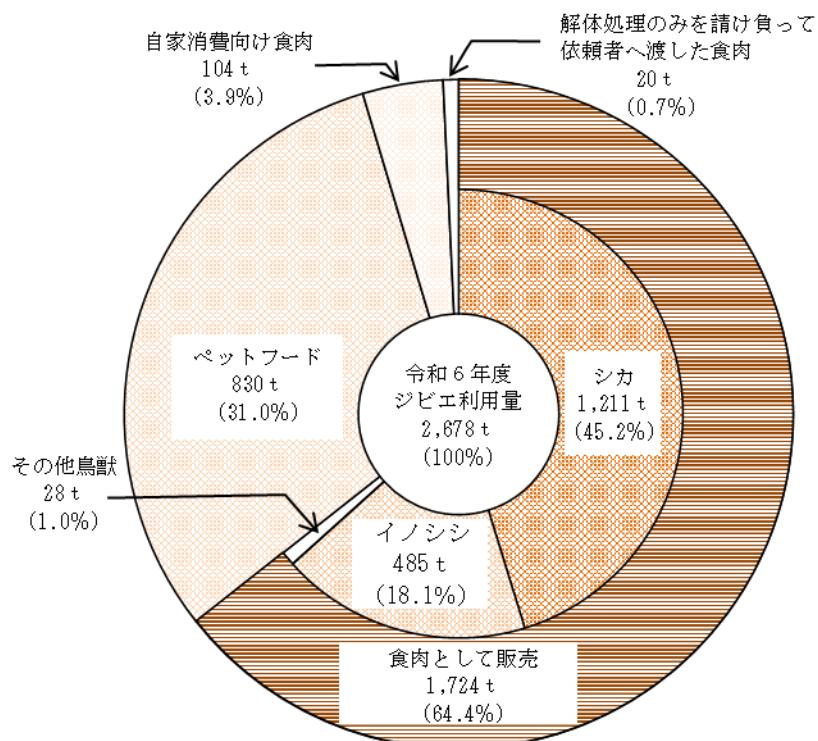


## 1 野生鳥獣のジビエ利用量

食肉処理施設が令和6年度に処理した野生鳥獣のジビエ利用量は2,678 tで、前年度に比べ1.9%減少した。

このうち、食肉として販売した数量は1,724 tで、前年度に比べ0.4%減少した。鳥獣種別にみると、シカが1,211 tで2.3%増加、イノシシが485 tで5.1%減少した。

図1 野生鳥獣のジビエ利用量の割合（全国）



注：構成割合については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表1 野生鳥獣のジビエ利用量（全国）

区分	合計	食肉処理施設が販売						解体処理のみを請け負って依頼者へ渡した食肉	自家消費向け食肉	単位：t		
		計	食肉			ペットフード						
			小計	イノシシ	シカ	その他鳥獣						
令和5年度	2,729	2,597	1,731	511	1,184	36	866	12	120			
6	2,678	2,554	1,724	485	1,211	28	830	20	104			
対前年度比（%）		98.1	98.3	99.6	94.9	102.3	77.8	95.8	166.7	86.7		
構成割合（%）												
令和5年度		100.0	95.2	63.4	18.7	43.4	1.3	31.7	0.4	4.4		
6		100.0	95.4	64.4	18.1	45.2	1.0	31.0	0.7	3.9		

## 2 野生鳥獣の解体頭・羽数

食肉処理施設が処理した野生鳥獣の解体頭・羽数は19万716頭・羽で、前年度に比べ4.4%増加した。

鳥獣種別にみると、イノシシが4万247頭で0.8%増加、シカが12万7,513頭で5.3%増加した。

図2 野生鳥獣の解体頭・羽数（全国）

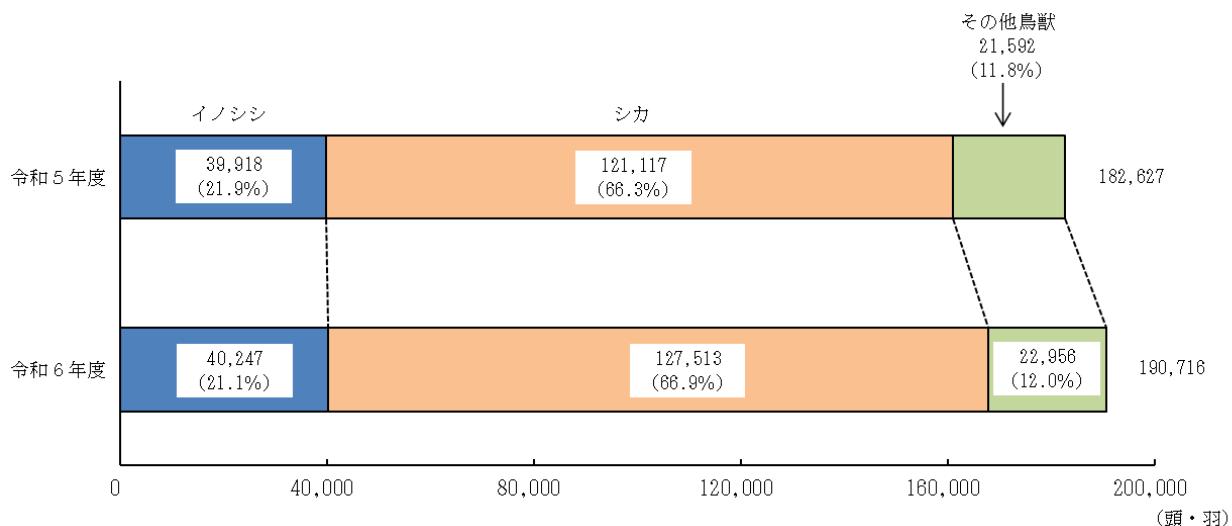


表2 野生鳥獣の解体頭・羽数（全国）

区分	計	イノシシ	シカ	その他の鳥獣			
				小計	クマ	鳥類	その他
頭・羽	頭	頭	頭・羽	頭	羽	頭・羽	
令和5年度	182,627	39,918	121,117	21,592	664	18,718	2,210
6	190,716	40,247	127,513	22,956	453	19,905	2,598
対前年度比(%)	104.4	100.8	105.3	106.3	68.2	106.3	117.6
構成割合(%)							
令和5年度	100.0	21.9	66.3	11.8	0.4	10.2	1.2
6	100.0	21.1	66.9	12.0	0.2	10.4	1.4

表3 (参考) 捕獲頭数に占める食肉等に利用された頭数の推移（全国）

区分	計			イノシシ			シカ		
	捕獲頭数 ① = ③ + ⑤	解体頭数 ② = ④ + ⑥	利用率 ② / ①	捕獲頭数 ③	解体頭数 ④	利用率 ④ / ③	捕獲頭数 ⑤	解体頭数 ⑥	利用率 ⑥ / ⑤
頭	頭	%	頭	頭	%	頭	頭	%	
令和2年度	1,353,700	120,609	8.9	678,900	34,769	5.1	674,800	85,840	12.7
3	1,253,600	128,699	10.3	528,600	29,666	5.6	725,000	99,033	13.7
4	1,306,900	144,979	11.1	590,100	36,087	6.1	716,800	108,892	15.2
5	1,244,700	161,035	12.9	522,000	39,918	7.6	722,700	121,117	16.8
6	1,381,700	167,760	12.1	643,000	40,247	6.3	738,700	127,513	17.3

資料：「捕獲頭数」は狩猟及び有害捕獲等によるイノシシ、シカの捕獲頭数（環境省調べ）であり、「解体頭数」は「野生鳥獣資源利用実態調査」の結果である。

注1：「捕獲頭数」の値は速報値である。

2：計はイノシシとシカの合計であり、「その他鳥獣」は含まない。

### 3 野生鳥獣を処理して得た金額

食肉処理施設で野生鳥獣を処理して得た金額は54億1,800万円で、前年度に比べ0.2%増加した。

このうち、食肉の販売金額は45億5,600万円で、前年度に比べ3.5%増加した。鳥獣種別にみると、イノシシが16億4,200万円で0.1%減少、シカが27億5,800万円で7.3%増加した。

表4 野生鳥獣を処理して得た金額（全国）

区分	合計	販売金額										解体処理の請負料金	
		計	食肉				食肉以外						
			小計	イノシシ	シカ	その他鳥獣	小計	ペットフード	皮革	鹿角製品(鹿茸等)	その他		
令和5年度	5,405	5,399	4,404	1,644	2,571	189	995	888	14	90	3	6	
6	5,418	5,404	4,556	1,642	2,758	156	848	792	38	16	2	14	
対前年度比(%)	100.2	100.1	103.5	99.9	107.3	82.5	85.2	89.2	271.4	17.8	66.7	233.3	
構成割合(%)													
令和5年度	100.0	99.9	81.5	30.4	47.6	3.5	18.4	16.4	0.3	1.7	0.1	0.1	
6	100.0	99.7	84.1	30.3	50.9	2.9	15.7	14.6	0.7	0.3	0.0	0.3	

### 4 卸売・小売に販売した食肉の鳥獣種別販売価格

食肉処理施設が卸売・小売に販売した食肉の鳥獣種別の1kg当たりの販売価格は、イノシシが3,263円で、前年度と比べ3.3%増加、シカが2,026円で6.3%減少した。

表5 卸売・小売に販売した食肉の鳥獣種別販売価格（全国）

区分	イノシシ	シカ	その他鳥獣	単位：円/kg			
				令和5年度	6	対前年度比(%)	102.3
令和5年度	3,158	2,163	4,753				
6	3,263	2,026	4,860				
対前年度比(%)	103.3	93.7					

## 5 卸売・小売に販売した食肉の販売先別の販売数量

食肉処理施設が卸売・小売に販売した食肉の販売数量は1,477 tで、前年度に比べ0.7%増加した。

販売先別にみると、卸売業者への販売数量が451 t (30.6%)と最も多く、次いで外食産業への販売数量が389 t (26.4%)、消費者への直接販売数量が224 t (15.2%)であった。

図3 卸売・小売に販売した食肉の販売先別の販売数量割合 (全国)

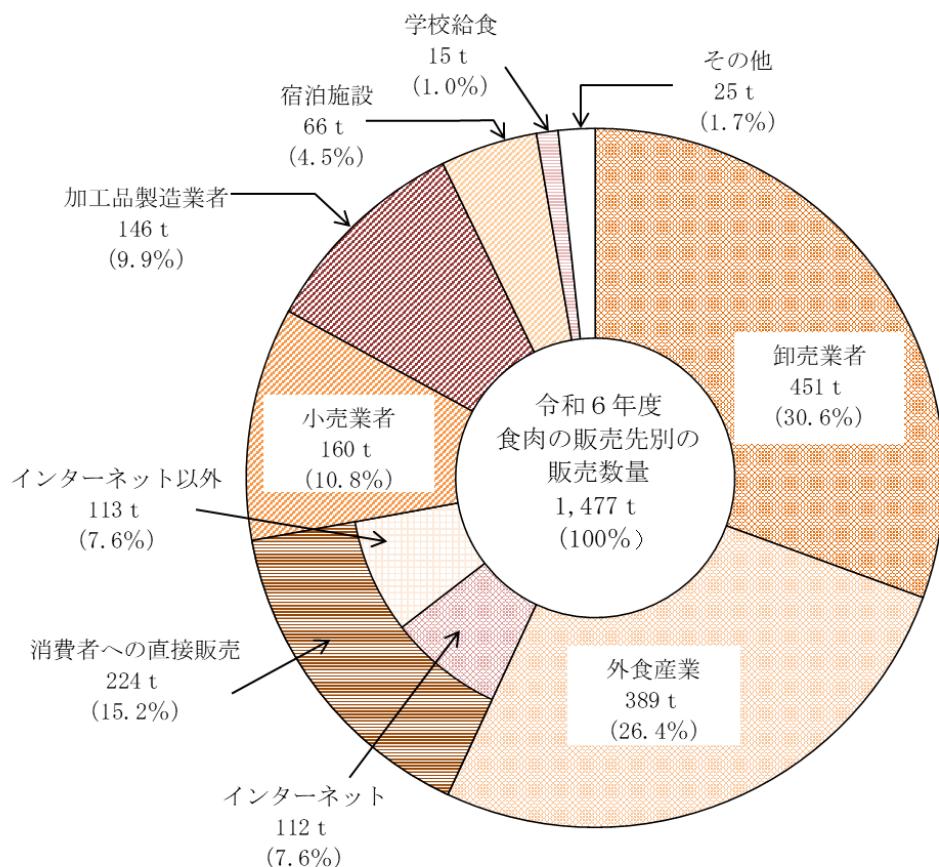


表6 卸売・小売に販売した食肉の販売先別の販売数量 (全国)

区分	計	販売数量 (t)									単位:t
		卸売業者	小売業者	加工品製造業者	外食産業	宿泊施設	消費者への直接販売	インターネット	学校給食	その他	
令和5年度	1,466	461	175	160	406	33	192	113	14	25	
6	1,477	451	160	146	389	66	224	112	15	25	
対前年度比 (%)	100.7	97.9	91.5	91.7	95.8	201.6	116.9	99.0	104.1	97.0	
構成割合 (%)											
令和5年度	100.0	31.4	11.9	10.9	27.7	2.2	13.1	7.7	1.0	1.7	
6	100.0	30.6	10.8	9.9	26.4	4.5	15.2	7.6	1.0	1.7	

注: 対前年度比及び構成割合については、統計表の数値(原数)を用いて計算している(以下表6から8まで同じ)。

表7 卸売・小売に販売したイノシシの食肉の販売先別の販売数量（全国）

区分	計	卸売業者	小売業者	加工品 製造業者	外食産業	宿泊施設	消費者への 直接販売	単位:t		
								インターネット	学校給食	その他
令和5年度	461	144	53	37	113	12	83	47	5	15
6	403	134	44	26	95	12	79	33	3	10
対前年度比 (%)	87.5	93.0	84.3	69.9	84.2	102.8	95.4	70.1	57.0	69.0
構成割合 (%)										
令和5年度	100.0	31.2	11.4	7.9	24.5	2.6	18.0	10.3	1.1	3.2
6	100.0	33.1	11.0	6.3	23.6	3.1	19.6	8.2	0.7	2.5

表8 卸売・小売に販売したシカの食肉の販売先別の販売数量（全国）

区分	計	卸売業者	小売業者	加工品 製造業者	外食産業	宿泊施設	消費者への 直接販売	単位:t		
								インターネット	学校給食	その他
令和5年度	973	303	121	122	281	20	107	64	9	10
6	1,050	312	114	121	282	53	142	77	12	14
対前年度比 (%)	107.9	103.0	93.8	98.8	100.5	261.3	133.3	120.2	129.4	138.1
構成割合 (%)										
令和5年度	100.0	31.1	12.4	12.5	28.8	2.1	10.9	6.6	1.0	1.1
6	100.0	29.7	10.8	11.5	26.9	5.1	13.5	7.3	1.1	1.4

## 6 解体頭・羽数規模別食肉処理施設数

野生鳥獣の解体頭・羽数規模別に食肉処理施設数をみると、50頭・羽以下が377施設と最も多く、全体の約5割を占めた。

一方、1,001頭・羽以上の階層では、1,001～1,500頭・羽が20施設(2.4%)、1,501頭・羽以上が24施設(2.9%)であった。

図4 解体頭・羽数規模別食肉処理施設数の割合(全国)

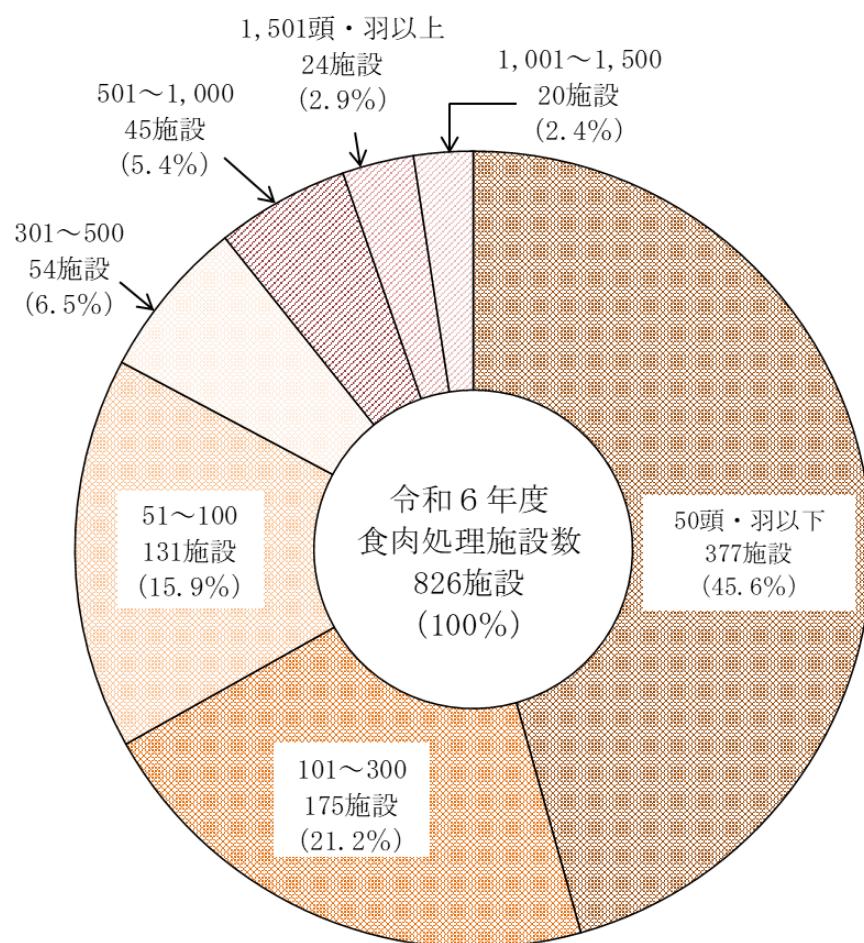


表9 解体頭・羽数規模別食肉処理施設数(全国)

区分	解体頭・羽数規模								単位：施設
	計	50頭・羽以下	51～100	101～300	301～500	501～1,000	1,001～1,500	1,501頭・羽以上	
令和5年度	772	361	120	152	52	45	16	26	
6	826	377	131	175	54	45	20	24	
対前年度比(%)	107.0	104.4	109.2	115.1	103.8	100.0	125.0	92.3	
構成割合(%)									
令和5年度	100.0	46.8	15.5	19.7	6.7	5.8	2.1	3.4	
6	100.0	45.6	15.9	21.2	6.5	5.4	2.4	2.9	